回覧　回覧後、地区委員保管

令和3年8月発行：北高森自治会

北高森自治会だより

主な記事
- オリンピックに2名出場へ
- 赤坂地区内で土砂崩れ発生
- 盆踊り大会・成瀬地区体育祭・敬老会は2年連続で中止に

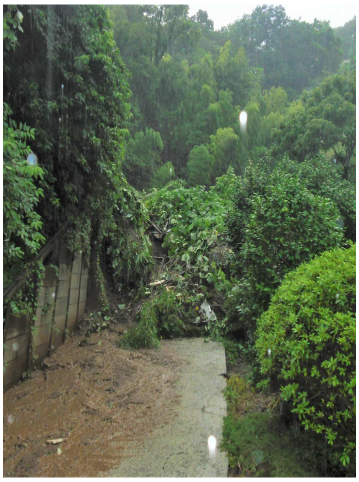
坂井幹さんと石川優さんがオリンピック代表選手に決定

北高森から、オリンピック代表選手2名が選出されました。男子ハンドボール日本代表に、四ツ谷地区の坂井幹さん(25歳、豊田合成)、陸上女子4×100mリレー日本代表に、鳴瀬地区の石川優さん(18歳、青山学院大学)の2名です。二人とも、緑台小学校・成瀬中学校を卒業後、高校・大学や実業団で更に競技に取り組み今回の成果となりました。

自治会では、二人の活躍を祈念しお祝いを届けました。

皆さんでオリンピックでの活躍を応援しましょう。

赤坂地区で大規模土砂崩れ発生



7月3日早朝、深夜からの豪雨により赤坂3地区で大規模な土砂崩れが発生しました。

幸いにして、人的被害は有りませんでしたが、民家や建設会社に続く道路や畑、駐車中のダンプカー1台が土砂に埋まりました。崩れた土地は民有地ですが、民家には高齢者もいられるため、人命を守ることを最優先に7日から緊急復旧工事が始まりました。土砂を撤去し、崖下には大型の土嚢を積み上げ、崩れた崖には雨の侵入を防ぐシートを張り、道路はほぼ復旧しました。市役所の早急な対応にお礼申し上げます。

防災指導協力員2名を新規委嘱

「北高森防災指導協力員」の新規委嘱を行いました。

本年度は、前自治会副会長の髙梨徳久さん（宮下）と前防犯担当理事の髙梨安弘さん（赤坂）の2名に委嘱を行いました。

「防災指導協力員制度」とは、自主防災力を強化・継続させる目的で、平成29年度総会で自主防災会規約を改正し、運用を開始したものです。

防災指導協力員は、基本的に任期はなく、防災に関して専門知識・技術を有する方、住民情報に詳しい方又は市の防災リーダー研修受講者等の中から、自主防災会会長が委嘱することになっています。委嘱者は、2名を加え次の14.名の方々となりました。

〔順不同、敬称省略〕
- 森　武(宮下)
- 谷川　廣幸(四ツ谷)
- 斎藤　英典(吾妻入)
- 田中　広吉(了の谷戸)
- 岩松　公平(了の谷戸)
- 斎藤　昇(了の谷戸)
- 石川　謙二(鳴瀬)
- 栢沼　満(赤坂)
- 山﨑　利幸(四ツ谷)
- 今井　登(赤坂)

・関野　裕(宮下)
・野辺　愛子(四ツ谷)
・髙梨　徳久(宮下)
・髙梨　安弘(赤坂)

髙梨徳久様

髙梨安弘様

盆踊り大会・成瀬地区体育祭・敬老会は中止に!!

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、再度の緊急事態宣言が発出されました。

こうした中、各関係者・団体で協議の結果、開催は困難と判断し、残念ながら2年連続の中止が決定しました。

高森児童館を利用しやすく!!

児童館への上り坂は狭く、高森神社に向かって大きくカーブしているため坂の途中にカーブミラーを設置しました。

また、トイレは和式の為、以前より洋式への改修要望が出ていました。今年5月より放課後児童見守り活動『みどりっ子』がスタートしたことを機に、市の助成を受けて改修しました。施工は地元の細野商店(株)に依頼し、手すり等の設置にご配慮いただきました。

水路2箇所を改修しました

マドカ幼稚園の園舎や園庭を横切る水路は、大雨時、下流の西部用水路から上流で溢れることが有ります。改善策は、西部用水路を横切る管を太くすることですが、試行的に水の流れをスムーズにするための改修をしました。

また、赤坂地区内の水路も、草が茂り、土手も崩れて水路を塞ぐためU字溝を設置して改修しました。今後5年程度の予定で毎年改修を進めていきます。

マドカ幼稚園下流部

赤坂地区内

農道の舗装を実施しました

赤坂地区内の農道を、市より生コンとワイヤーメッシュの資材支給を受け、2年間に分けて舗装しました。凸凹の砂利道約250ｍが舗装されました。工事をされた地域の皆様お疲れさまでした。

防犯・防災パトロールを実施

自治会では定期的に管内のパトロールを実施しています。消火器・防犯灯の点検、危険個所、不法投棄、道路・河川等の改修箇所等の確認を行っています。

今回は、理事改選後初めてのパトロールの為、各理事自宅方面を中心にパトロールを行いました。今まで気づかなかった危険個所や、夜間の照明状況の聞き取りが出来ました。

編集後記

地区内でがけ崩れが発生する様な豪雨や、突然の雷を伴う豪雨が続いた梅雨が開け、途端に猛暑になりました。会員の皆様には、熱中症等に十分気を付けてください。

新型コロナウイルスの影響で、毎年大勢の方に参加いただいています盆踊り大会・地区体育祭や敬老会等の行事が2年続けて中止となりました。

早く、安心して各行事が出来る日々が来ることを祈ります。

ここに8月号を発行いたしましたのでご高覧願います。

発行責任者　重田　芳乃